

団体名

松本どんどん

実施内容

開業を目指す移住希望者が松本での小商い体験を通して、地域とつながる機会を創出するため、11月および12月の計2回、タビシロを会場に移住希望者と地元事業者が共に出店するマーケットを開催

□ 第1回（11月16日）

- ・ みみのクレープ（東京）
- ・ 菓子壺（県内）
- ・ aL coffee&bake（県内）

□ 第2回（12月14日）

- ・ 東京台湾（東京）
- ・ MILK TEA SERVICE（東京）
- ・ しんちゃんおやき（県内）
- ・ The Source Diner（県内）
- ・ LAVALI（県内）
- ・ YURIKA AKUTSU（群馬）
- ・ oran（東京）
- ・ OH LOLA（県内）
- ・ バナナアート体験（東京）

会場レイアウトは移住希望者と地元事業者が混在する配置とし、イベント終了後には出店者同士の交流会を実施し、商いや移住に関する意見交換を行う機会を創出した。

目的

- ・ 地元の人と移住希望者がマーケットを通じて交流し、移住・定住への第一歩となる「試しの場」を提供する。
- ・ 「チャレンジできるまち・松本」という魅力を発信し、移住促進と地域活性化につなげる。

効果

- ・ 来場者数は合計で300人を超え、用意していたステッカー300枚も配布終了
- ・ 移住希望者が松本での開業を具体的にイメージできる機会となったとともに、対面交流により移住前から地元事業者や来場者とのつながりを築くことができた。また、地元事業者との交流の中では今後のコラボイベントやポップアップ開催に向けた前向きな意見交換が行われるなど、継続的な関係構築に繋がる様子が見られた。
- ・ ロゴを事業の象徴として活用し、継続的な取り組みへの基盤を整えることができた。

今後の課題

- ・ 今回はタビシロのみを会場として開催したが、次回以降はより地域とのつながりを深めるため、タビシロ以外の会場も活用した開催を検討。
- ・ 会場規模に対して出店者数が多かったことから、トーク企画等を実施するための十分なスペースを確保できず、企画は見送りとなった。特に来場者との交流機会が少なくなってしまったため、出店者数の調整や会場の増設、レイアウト工夫等により、交流機会の拡充を図る。
- ・ 認知度が十分とは言えなかったため、今後は広報手法を強化しより多くの来場を促すPRを行なっていく。

事業実施経過

年月	実施事項
令和7年10月	出展者選別・企画
令和7年11月	第1回松本どんどん開催
令和7年12月	第2回松本どんどん開催
令和8年6月頃	次回出展者選別（予定）
令和8年12月頃	松本どんどん開催（予定）